

【診療科:血液内科】  
 【レジメン登録番号:IG-89】

〈 DBd療法 〉

【1～3コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	...	4	5	...	8	9	...	11	12	15	...	21
デキサート	18.5mg/body/day	div	○						○						○	
ダラザレックス	16mg/kg	div	○						○						○	
ボルテゾミブ	1.3mg/m <sup>2</sup>	s.c.	○			○			○			○				
レナデックス錠	20mg/body/day	p.o.	○		○	○			○			○	○			

【4～8コース】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)													
			1	2	...	4	5	...	8	9	...	11	12	15	...	21
デキサート	18.5mg/body/day	div	○													
ダラザレックス	16mg/kg	div	○													
ボルテゾミブ	1.3mg/m <sup>2</sup>	s.c.	○			○			○			○				
レナデックス錠	20mg/body/day	p.o.	○		○	○			○	○			○	○		

【9コース以降】

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)															
			1	2	...	4	5	...	8	9	...	11	12	15	...	21	...	28
デキサート	18.5mg/body/day	div	○															
ダラザレックス	16mg/kg	div	○															

【1コース期間:1～8コース:21日 9コース以降:28日】 【総コース数:制限無し】

【適応病種:多発性骨髄腫】

【時期:術前、術後、手術不能・進行・再発】

【1～3コース】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	デキサート 18.5mg/body	div <sup>※1</sup> (1時間で)	day1,8,15
	ボラフィン 1A		
	生食 100mL		
Rp.2	ダラザレックス 16mg/kg	div <sup>※3</sup>	day1,8,15
	生理食塩水 <sup>※2</sup>		
Rp.3	ボルテゾミブ 1.3mg/m <sup>2</sup>	s.c.	day1,4,8,11
	生理食塩水 0.8mL/V		
Rp.4	レナデックス錠 20mg/body	分1 p.o.(朝食後)	day2,4, 5, 9, 11,12

【9コース以降】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	デキサート 18.5mg/body	div <sup>※1</sup> (1時間で)	day1
	ボラフィン 1A		
	生食 100mL		
Rp.2	ダラザレックス 16mg/kg	div <sup>※3</sup>	day1
	生理食塩水 <sup>※2</sup>		

【4～8コース】

Rp	薬剤名	投与経路(速度)	投与日
Rp.1	デキサート 18.5mg/body	div <sup>※1</sup> (1時間で)	day1,
	ボラフィン 1A		
	生食 100mL		
Rp.2	ダラザレックス 16mg/kg	div <sup>※3</sup>	day1
	生理食塩水 <sup>※2</sup>		
Rp.3	ボルテゾミブ 1.3mg/m <sup>2</sup>	s.c.	day1,4,8,11
	生理食塩水 0.8mL/V		
Rp.4	レナデックス錠 20mg/body	分1 p.o.(朝食後)	day2,4,5,8,9,11,12

【参考文献:N Engl J Med 2016;375:754-66】  
 【備考:ダラザレックスは0.2ミクロン以下のインラインフィルターを通して投与すること。】  
 【備考:ダラザレックスは輸注ポンプを用いて投与すること。】  
 【備考:デキサート注は静脈内投与が不可の場合のみレナデックス錠の経口投与でも可能。】  
 【備考※1:デキサメタゾン、抗ヒスタミン剤及びアセトアミノフェン1000mg、モンテルカスト錠10mgの前投薬(ダラザレックス投与の1時間前)を行う。】  
 【備考※2:初回は希釈後の総量が1000mL、忍容性がよければ2回目以降総量500mLになるよう調整してもよい。】  
 【備考※3:投与速度は添付文書参照。】  
 【変法情報:デキサート注は、デキサメタゾンリン酸エステルとして20mg。】